



# 市議会だより

◆ 発行：豊前市議会 ◆ 編集：編集委員会 ◆ 印刷：(有)八屋印刷



平成20年豊前市消防団出初め式の様子

2008

No. 59

## 主な内容

- 12月定例会 ……2P
- 主な議案の概要 ……3P
- 一般質問 ……4P

**市議会議員選挙  
の投票日は  
3月30日(日)  
です。**

## 12月 定例会議案審議結果

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第79号	豊前市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	全会一致で可決
議案第80号	豊前市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致で可決
議案第81号	豊前市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	賛成多数で可決
議案第82号	豊前市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致で可決
議案第83号	豊前市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	賛成多数で可決
議案第84号	地方公営企業法の規定を適用する日を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致で可決
議案第85号	豊前市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致で可決
議案第86号	豊前市水道事業運営審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致で可決
議案第87号	豊前市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致で可決
議案第88号	豊前市土砂等のたい積の規制に関する条例の制定について	文教厚生	全会一致で可決
議案第89号	豊前市青豊集会所の設置及び管理に関する条例の制定について	産業建設	全会一致で可決
議案第90号	豊前市道路線の廃止について	産業建設	全会一致で可決
議案第91号	豊前市道路線の認定について	産業建設	全会一致で可決
議案第92号	平成19年度豊前市一般会計補正予算(第3号)	全委員会	全会一致で可決
議案第93号	平成19年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	文教厚生	全会一致で可決
議案第94号	指定管理者の指定について	産業建設	全会一致で可決
議案第95号	指定管理者の指定について	産業建設	全会一致で可決
議案第96号	豊前市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	全会一致で可決
議案第97号	平成19年度豊前市一般会計補正予算(第4号)	総 務	全会一致で可決
議案第98号	平成19年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	総 務	全会一致で可決
議案第99号	平成19年度豊前市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	総 務	全会一致で可決
請願第3号	豊前市単独による教員加配に係る請願	文教厚生	全会一致で採択
請願第4号	特別支援教員の配置に係る請願	文教厚生	全会一致で採択
請願第5号	割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を提出することを求める請願	産業建設	全会一致で採択
同意案第5号	副市長の選任について	—	全会一致で同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	全会一致で同意

# 議案26件を可決！

## 主な議案の概要

平成19年第4回(12月)定例会は、11月29日から12月13日までの15日間の会期で、開催されました。

本定例会には市長から条例12件、補正予算5件、同意案1件、その他4件、諮問1件、そのほかに請願3件の計26議案が提出されました。

提出された議案の大部分は所管の常任委員会で慎重に審査され、本会議においてすべて原案どおり可決されました。

## 条例関係

■豊前市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について  
日本年金機構法の公布及び雇用保険法等の改正に伴い、一部改正条例の施行日について整備するものです。

■豊前市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

公共下水道事業及び農業集落排水施設事業について地方公営事業法を適用することに伴い、関係規定を整備するものです。

■豊前市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
健康保険法及び国民健康保険法施行令の改正に伴い、国民健康保険税(65歳から74歳)の被保険者で構成される世帯を対象に徴収方法が変更になるため、関係規定を整備するものです。

■豊前市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について  
赤熊南土地区画整理事業地区内の公園整備の完了に伴い、豊公園を追加し、関係規定を整備するものです。

■豊前市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について  
図書館の運営を指定管理者に行なわせるため、関係規定を整備するものです。

■地方公営企業の規定を適用する日を定める条例の一部を改正

する条例の制定について  
公共下水道事業及び農業集落排水施設事業の2事業に地方公営企業法を適用する日を定めるものです。

■豊前市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
公共下水道事業及び農業集落排水施設事業の2事業に地方公営企業法の全部を適用するため

のものです。

■豊前市水道事業運営審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について  
東部地区工業用水道事業、公共下水道事業及び農業集落排水施設事業を含めた公営企業全般の運営に関して審議するため関係規定を整備するものです。

■豊前市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
公営企業職員の給与等に関する事項について市職員の規定を準用するため、関係規定を整備するものです。

■豊前市土砂等のたい積の規制に関する条例の制定について  
土砂等たい積による災害等の

発生防止及び生活環境確保を図るため、新たに条例を制定するものです。

■豊前市青豊集会所の設置及び管理に関する条例の制定について  
赤熊南土地区画整理事業地区内に集会施設を設置するため、関係規定を整備するものです。

■豊前市道路線の廃止について  
■豊前市道路線の認定について  
右の2件については、道路法の規定に基づき、市道路線を廃止及び認定するものです。

■指定管理者の指定について  
語らいの館と観光情報センターの指定管理者を指定するものです。

■豊前市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
人事院勧告に伴い、市職員の給与改定をするものです。

■平成19年度豊前市一般会計補正予算(第3号)  
主なもの補正額は、アサリ貝

生産振興事業補助金1,200千円、道路台帳補正費1,300千円、校用備品費1,270千円、要保護、準要保護児童・生徒補助金1,889千円です。

■平成19年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)  
主なものは、保険給付費と諸支出金等で、83,598千円を補正するものです。

■平成19年度豊前市一般会計補正予算(第4号)  
人事院勧告等に伴い、33,756千円減額補正するものです。

■平成19年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)  
人事院勧告等に伴い、968千円減額補正するものです。

■平成19年度豊前市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
人事院勧告等に伴い、1,599千円減額補正するものです。

## 補正予算

■平成19年度豊前市一般会計補正予算(第3号)

主なもの補正額は、アサリ貝



# 同意案

## ■副市長の選任について

12月13日の本会議で、副市長の選任について、同意を求められ、同意をいたしました。

(敬称略)

副市長に選任された者

豊前市八屋

後小路 一雄 (60歳)

# 諮問

■人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

12月13日の本会議で、人権擁護委員の推薦について意見を求められ、異議ない旨を答申しました。

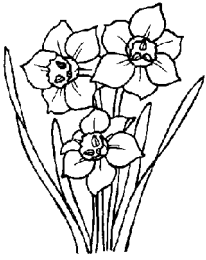
(敬称略)

人権擁護委員の候補者

豊前市下河内

笈木 みな子

議案の詳しい内容について、お知りになりたい方は、議会事務局まで申し出ください。



# 一般質問

12月定例会の一般質問では10名の議員が市政について質問をしました。質問と答弁の要旨については次のとおりです。

6日(木)		7日(金)	
質問者	質問事項	質問者	質問事項
古川哲也	1. 後期高齢者医療制度について 2. 合併問題について 3. 豊前市職員の意識向上について	山崎廣美	1. 農業問題について 2. 農業委員会の活動について 3. 食育について
爪丸裕和	1. 企業誘致の取り組みについて 2. 豊前市水道事業について	渡邊 一	1. 災害予防対策について
尾家啓介	1. 豊前市の人口減少に関連して	山本章一郎	1. 人口増対策について
尾澤満治	1. 環境問題について 2. 人材育成について 3. 観光振興について	村田喜代子	1. 市政運営について 2. 少子化対策について 3. 学童の安全対策について
宮田精一	1. 医療・福祉・社会保障問題について 2. 入札制度の改善問題について 3. 教育行政について	吉永宗彦	1. 企業誘致と用地確保について 2. 雑草放置地の処理の実態について 3. 後期高齢者医療制度の概要について 4. 入札談合情報を受けての市の対応 5. 向陽荘民間委譲の条件について

## 古川哲也議員の質問

### 1 後期高齢者医療制度について

**議員** このことについて市民の皆さんの実感はまだ沸かないと思うが、平成20年4月1日から本当に始まるのか。

**市長** 福岡県広域連合が組織され、その予定で計画が進められている。

**議員** 保険料はどのようなものか伺いたい。

**市長** 先の連合議会で決定した。所得割率9・24%、均等割額5万935円、賦課限度額50万円で、一人平均額は8万3740円と見込まれている。軽減、減免措置も国保と同様な基準で

運用される。

**議員** 保険料のモデルケースが各種想定されるが、福岡県は最も高い。今まで家族の扶養で支払いの必要がなかった者はどうなるのか。

**市民健康課長** 福岡県の老人医療費は4年連続全国一位で、今回の保険料もこのような金額になったと考えられる。

社会保険等の被扶養者であった人は、新たに保険料負担が生じるための緩和措置が適用される。所得の少ない世帯についても均等割額が7割、5割、2割と軽減される。



老人保健制度で医療を受けている人へ

平成20年(2008年)4月から  
**後期高齢者医療制度**  
がはじまります

**対象者** (世帯別) ●●●●●●  
75歳以上一定の所得のある人は85歳以上の人は全員が対象者となり、一人1枚のカード(後期高齢者医療被保険者証)が交付されます。

**自己負担** ●●●●●●  
医療費の自己負担は、これまでの老人保健制度と同等に、一部の人には、後援者(世帯主)が負担します。

**運営主体** ●●●●●●  
福岡県後期高齢者医療広域連合が運営主体となります。

**保険料** ●●●●●●  
保険料は被保険者全員が納めます。保険料は原則として年単位で納められます。

**給付** ●●●●●●  
これまでの老人保健制度と同様の給付が受けられます。

福岡県後期高齢者医療広域連合

**議員** これからのスケジュールはどのようになるのか。

**市民健康課長** 連合において1月末までに保険料賦課基準のシステムを確定し、2月に市において被保険者の保険料の算定作業に着手する。3月には保険証書を配布する計画である。

市民へは市報、住民説明会を通じて周知を図りたい。

## 2 合併問題について

**議員** 吉富町との合併問題は動きが止まっている。市長は新しい法律の期限内に合併を考えているのかお聞かせ願いたい。

**市長** 新しい法律は優遇措置が少ないが、期限内の合併は必要と考えている。

**議員** 吉富町以外、例えば上毛町との選択肢を持っているのか。

**市長** 上毛町、築上町は合併したばかりであり、新町としての一体性を確立することが急務であり、現時点では対象は吉富町と考えている。しかし、豊築は一つの信念は変わらない。

**議員** 福岡県の動きも止まっているように見えるが…。

**総合政策課長** 県の合併支援室との連絡はとっているが、今は状況を見守っている段階である。

**議員** 市長として今後の動きはどのようにされるのか伺いたい。

**市長** 吉富町も当初予算の編成作業があり、本市も市議選がある。終わったあとに大胆な提案をしたい。

## 3 豊前市職員の意識向上について

**議員** 第4次後期基本計画の策定中だが、この計画書を「知らない」、また「知っているけど読んだことがない」と言う市職員が7割もいる。このことをどのように考えているのか。

**総務課長** 驚きとともに、このことを真摯に受け止めなければならぬと考えている。厳しい自治体経営の中で、職員の使命感、責任感を共通認識として植えたかった。

**総合政策課長** 職員の認知をあげることも課題ととらえ、職員による、ワーキンググループを実施し、議論を深めている。その結果を計画に反映したい。

**議員** 計画書づくりはコンサルに任せることなく、職員が主体性をもって取り組むべきであり、そのことが市の発展にも通ずると考える。職員の意識改革を願う。

## 爪丸裕和議員の質問

### 1 企業誘致の取り組みについて

**議員** 企業誘致に対して今まで、どのように取り組んだのか。

自動車産業150万生産拠点と位置づけられたこの地域は、東九州自動車道の開通見込みも立ち、企業立地に恵まれた条件である。当市は、更に工業団地の建設、工業用地の確保が必要であるが、これをどのようにするのか伺いたい。

**市長** 東部工業団地が、3月に完売、7社が操業、その他の地域で3社が操業している。

団塊の世代の退職財源を確保するため工業用地の確保に遅れたが、目途がついた。

企業誘致を進めるためには、農地を準工業地域に指定して、工業用地を確保する。更に、企業誘致が早期に実現できるように鋭意努力したい。

**議員** 工業団地の完売により、雇用数の状況はどのように変わったのか。

**まちづくり課長** 東部、小石原、能徳工業団地の雇用数は、18年度491人、19年度643人になり、1年間に152人の雇用増になっている。今後も、4社

工業団地に建設予定があるため、雇用数は伸びると思われる。

**議員** 工業用地確保のため色々な方法があると思うが、農振除外は、時間がかかるのではないのか。

**農林水産課長** 農振除外も5千㎡になると、県の協議が必要であり、順調に行って1年半、異議があれば、2年はかかる。

**まちづくり課長** 企業が欲する土地を市が斡旋し、必要な土地が購入できるよう関係各課と協議をして、工業用地を確保して行きたい。

**議員** 企業誘致を専門にする職員(課)に担当させたらどうか。

**市長** この提案については、前向きに検討したいと思う。

### 2 豊前市水道事業について

**議員** 水道事業について数点伺いたい。

京築水道企業団の経営体制は、健全なのか、伊良原ダム completionに伴う給水量、給水単価について見直しが必要ではないかまた、起債の償還についてどのように考えているのか。

**上下水道課長** 京築地区水道企業団の経営体制は9名体制であるが今後、人員体制については検討したい。企業経営については、資本的支出は、2億円ほどオーバーしているが、内部保留金で処理済み。収益的収入は3千万から4千万の利益がある順調にしていると思う。

給水量や単価の見直しを、構成団体で検討及び調整はできないか、要望して行きたい。

12億の起債の償還は、毎年6千万返済している。7%以上の起債は、補償金免除償還の申請中で、5%~6%の起債は、繰上げ償還をして、無駄な出費を無くしたい。

**議員** 他市の企業団は、民間企業に委託をしてコスト削減に取り組んでいる。当企業団も無駄な事業の見直した、コスト削減に努めないのか。

**市長** 水道企業団の運営については、職員数を減らし、水道料金も値下げ、伊良原ダム建設費の、積立もしている。

民間委託すると構成団体が成



り立たなくなると思うため、今のところ民間委託は全く考えていない。

給水量については、水の足りない市町が多いので、今以上に買っていたり、解決を図って行きたい。

**上下水道課長** 伊良原ダムの関係で22年度まで、事業を延ばして工事を施工している。主要な事業は完了するため、今後は財務課と協議をし、無駄な工事はしないように進めて行きたい。

## 尾家啓介議員の質問

### 1 豊前市の人口減少に関連して

**議員** 市内には百三十一行政区があるが、その39%が限界集落と準限界集落であり、今後も増えることが予測される。また、

**限界集落**：高齢者など、高年齢者が多く、生活維持が困難な状態。  
過疎化など、高年齢者が多く、生活維持が困難な状態。

**準限界集落**：55歳以上の人口比率が50%を超えており、現在の共同生活の跡がなくなり、集落の維持が困難な状態。



中山間地域だけでなく、街中でも増えつつある。自治組織を守るため、集落が消滅していく前に全域的な行政区の見直しを行い、早急に対策を講ずるべきではないのか。

**総務課長** 避けて通ることができない課題であり、研究会を設置して取り組んでいかなければならない。また、行政区の再編だけでなく、生き残りを目指す事業の検討も併せて行いたい。

**議員** 中学校に関する、通学区域審議会の決定内容と現在の状況はどのようなものか。

**教育長** 答申の内容は、将来の生徒数・教育的効果などから1校に統合することが提起され、築上中部高校跡地に統合中学校を新たに設立するとなっている。5年を目前に具体化を図ることになっているが、厳しい財政事情等のため具体的な推進計画は立てていない。今後は財政計画

等を参考にし、実施計画をたてていきたい。

**議員** 今後、豊前市でも外国人労働者が増えてくると思うが、学校教育・社会教育はどのように変化し対処していく必要があるのか。

**教育長** 在日外国人を生活者としてとらえ、就学の希望があった場合は受入れをし、日本人と同様に、義務教育無料、教科書無償、就学援助などの措置を講じる。また、日本語の習得のための措置を検討しなければならぬ。しかし、地域に適應した子ども達は、日本語を話さない親や兄弟とのコミュニケーションがとれない・母国語がわからない・親の伝統や文化を受け継げないなど、問題点もあると考える。

**議員** 定住外国人が増えて、社会教育、学校教育問題で非常に悩んでいる都市があるので、そういう所に職員を派遣して共同で研究をしてはどうか。

**副市長** 教育委員会とも協議し、前向きに進めたい。

**議員** 人口減少が市の財政に与える影響は。  
**市長** 納税者の絶対数の減少、生産年齢人口の減少により、市民税に大きな影響が出る。地方交付税も今以上に影響が出ると

予想されるが、世帯数は増加しており、人口も激減ではないと考えている。今後、企業誘致・住宅政策に力を入れ魅力ある街にしていきたい。

**議員** 人口が減少し高齢化が進むと、水の需要が減少し、責任水量制による不必要な水の量が增加する。

水道事業の破綻を避けるため、早急に長期的な対策を講ずるべきでは。

**水道課長** 区域拡張工事で需給水量は増加している。今後は京築水道企業団に、構成団体の水量の調整を要望したい。営業では経費の節減に努め、工場等大口需給者の接続推進を進めていきたい。

**市長** 行橋市は水不足で困っているとと思うので、京築水道企業団の取水を増やすよう要請していきたい。

**議員** 女性管理職・女性区長の登用に行政の後押しをお願いしたいが。

**総務課長** 指導的立場に女性が占める割合が増えるよう、積極的に改善していきたい。

女性区長への後押しは、区長会とも相談し意欲と能力のある女性がチャレンジできるように努力していきたい。また、男女共同参画社会について、理解と関

心を深めて頂けるよう、市をあげて推進していきたい。



## 尾澤満治議員の質問

### 1 環境問題について

**議員** 地球温暖化等、環境問題が世界的に叫ばれているが、関連して数点伺いたい。

市バスにバイオ燃料を一部使用していると聞かすが、取り組みの状況を伺いたい。

**総務課長** 障害者支援センター「すずの家」で作った使用済み食用油を精製した燃料を一部使用している。環境にやさしく、燃料費の節約にも繋がると考えている。今後、安定的に供給できれば、パッカー車等の公用車にも利用したい。

**議員** 平成19年度から農地・水・環境保全向上対策事業が国の補助事業として始まったが、豊前市ではどのくらいの地域が取り組むのか。

**農林水産課長** 市内全集落で説

明会を実施し、9つの活動組織が誕生した。交付対象面積は155ヘクタールである。

**議員** 申請の書類作りに難しい面があり、この数になったと思うが、地域ぐるみで農地、農業用水路等の適正な管理を行い、美しい農村風景を残していただきたい。

もう一点、福岡県が平成20年度から森林環境整備事業を実施するが、この取り組みについても伺いたい。

**農林水産課長** 福岡県の森林を再生し、守り育て、豊かな県民共有の財産として次世代に引き継ぐ目的で創設された。豊前市においても森林組合等と協力し、荒廃した山林の調査、施業を実施して、森林の再生を目指したい。

## 2 人材育成について

**議員** 市政を取り巻く環境が厳しさを増す中で、高度化・多様化する住民ニーズに的確に応えるため、市職員の意識改革と資質の向上が重要課題であるが、市の認識はどのようなものか。

**総務課長** 自治体間競争に勝ち残れるかは、職員の力量が大切であると言われている。「市民

に挨拶ができる職員」、そのような基本姿勢の上にたち、日々の仕事に緊張感をもち、市民の負託に応えられるよう、職員の総合的な能力開発に取り組みたい。

**議員** 行政のスリム化に向け、様々な人材の活用を図らなければならぬ。団塊世代の人々の知恵を借りるための「人材バンク登録制度」を導入したらどうか。

**教育長** 教育委員会としては、定年退職後の生き方の観点から、ボランティア活動に積極的に協力いただけるよう、その仕組みや受け皿づくりを進めなければならないと考えている。

国においても来年度からそのような取り組みを考えており、市においても体制を整えたい。

## 3 観光振興について

**議員** 岩屋地区の素晴らしい景観を残していくためにも、早急に景観条例を制定すべきと思うが、執行部の考えをお聞かせ願いたい。

**まちづくり課長** 求菩提地区の景観保存調査を行い、その素案づくりを行っている。平成21年度中に景観条例を提案したい。



三毛門神楽

**議員** 先般、民間主動により、ユズ祭り、さかな祭りが開催され盛況に終わった。今後、民間イベントへの支援策はどのようにされるのか。

**市長** 本市には歴史ある祭りや伝統芸能が受け継がれている。また、民間主動のイベントも多くのファンにより盛り上がりを見せている。市としては更に多くの人に情報を発信し、協同で頑張りたい。

**議員** この素晴らしい観光資源をルート化できないものか。

**教育課長** 各地域に点在する歴史的、文化的な遺産を様々な要

素で分類を行い、系統たてて整理、演出すれば観光ルート化も可能と考えている。

## 宮田精一議員の質問

### 1 医療・福祉・社会保険問題について

また、二月には各地区の公民館で説明会を開き市民の理解をお願いしたい。

**議員** 福岡県の保険料は全国でも、最も高い方である。今までの国保税を上回るべきでないし、自治体独自で減免制度をつくる考えはないのか。

**市民健康課長** 保険者は豊前市ではなく難しい。しかし今後の運用段階で変更の可能性はある。

**議員** 保険料が払えない場合、資格証明書の発行はどうなる。

**市民健康課長** 命の問題であり機械的には発行しない。

**議員** 健診事業の自己負担はどのように考えているのか。

**市民健康課長** 今までどおり有料でお願いしたい。

**議員** 厚労省から妊婦健康診査の公費負担のあり方が出されたが、市の考えを聞きたい。

**市民健康課長** 現在の2回を3回の方向で検討している。

**議員** 5回はできないのか。

**市民健康課長** 財政的に厳しいと考えている。



## 山崎廣美議員の質問

### 1 農業問題について

窮状を訴え、支援をお願いしている。

転作交付金の見直しについては、水田農業の振興と担い手の確保、育成に効果的に活用が図られるよう協議会で検討したい。

議員 米の需給バランスが崩れ、過剰米が多く発生し、そのことが価格にも影響する。転作未達成者へのペナルティー等ほどのように考えているのか。

農林水産課長 豊前市全体では転作率は達成している。未達成者は価格補填を受けられず、過剰米を自己責任で販売しなければならず、一定のペナルティーが課せられていると考えている。

しかしながら、「俺は俺だ」でなく地域が一丸となり、意識改革を図らなければ、これからの農業は続かないと思われる。

### 2 農業委員会の活動について

議員 耕作放棄地の調査後の対応について伺いたい。

農委局長 農業委員による農地パトロールを実施し、耕作者に適正な管理をお願いしているが、所有者の諸般の事情により放置されたままの田もある。

議員 農業委員は地域の農業に最も精通した人達である。農転申請等の審査だけでなく、農林水産課と連携し、いろんな取り組みをし、農業の振興に努めるべきではないのか。

農委局長 農業委員の総会があるので、このことを伝え活動に結び付けたい。

### 3 食育について

議員 平成17年に食育基本法が制定され、市においても食育推進会議や推進基本計画の制定を再三要請してきたが、その後の進捗状況について伺いたい。

農林水産課長 作業が遅れて申

議員 今の農家は大変困窮疲弊している。食糧自給率のアップを目指す農政の基本方針の下、農家に有効な施策を見極める必要がある。そこで数点伺いたい。

表価、米価の下落について、行政の対応はどのようにしているのか。

農林水産課長 麦類は全量契約栽培であり、「品目横断経営安定対策」への加入を推進している。米価については地場産米のPR活動、生産調整実施への支援等を行い売れ残らない米づくり、価格の維持に努めている。

議員 「品目横断経営安定対策」に移行してから危機感が増した。その見直しを要請しているが、営農組合、担い手農家の経営状況、及び転作交付金はどうか。

農林水産課長 一般農家同様に厳しい経営状況と慮慮される。麦、大豆に対する助成措置が品目横断経営安定対策に移行し、従来より支払いが遅くなったことが要因の一つと考えている。

今の国の農政は北海道タイプの大規模化の奨励であり、機会ある度に、九州の小規模農家の



札率の低下であり、とても改善されたとは思えない。電子入札、郵便入札の導入は考えていないのか。

副市長 郵便入札については今後、検討すべきと考える。

### 3 教育行政について

議員 現時点における小・中学校の冷暖房の設置状況について伺いたい。

教育課長 すべての学校の普通教室には冷暖房設備を完備した。

議員 全国一斉学力テストの結果公表についての教育委員会の見解を伺いたい。

教育長 市町村間、学校間の序列化や過度の競争につながる恐れのある平均正答率などの数値等については、本来の趣旨に沿わないため行わない。



議員 少子化対策のために乳幼児医療制度の拡充（3歳以上児の通院）を図るべきではないのか。

市長 今は、現状で行きたいが、鋭意検討はしていきたい。

### 2 入札制度の改善問題について

議員 先般、足利市での視察では、条件付一般競争入札に切り替えたことで平均落札率が88%に低下し、5%の税金が節約できたと聞いた。豊前市での条件付一般競争入札の件数と落札率について伺いたい。

副市長 本年度7件実施し、平均落札率は92・7%であった。改善の方向にあると考えている。

議員 新聞で豊前市の談合情報 が報道されたが：

財務課長 特定の業者が特定の金額で落札するとの情報があつた。一部具体的な情報もあり「談合情報対応マニュアル」に基づき調査したが、その結果、談合の事実が判明せず入札を実施した。

その結果、落札者は情報どおりの業者となったが、落札率は87・85%となり、入札は適正に行われたと判断し、契約した。

議員 その結果を含めた平均落



し訳ない。ただ、当課としては関係団体、学校給食現場との協議会を持ち、地場産品の利用促進を一層進めるよう取り組んでいる。

**議員** この問題は以前から、指摘してきたことだ。他市の進捗に合わせることなく、豊前市独自のものを早急に作るべきではないか。

**市長** 学校においても、子供のこと、農業のこと、いろんな事を考えたら完全米飯化すべきと思うが。

**市長** 私自身も子供が豊前の米を食べて育ち、故郷を想い、そして頑張る。このことは必要と考えているので、推進したい。

### 渡邊 一議員の質問

## 1 災害予防対策について

**議員** 古来から「水を治める者は国を治める」と言われてきた。豊前市では近年、大雨時、鈴子川の氾濫が大きな問題となっている。

平成十六年においては、能徳工業団地の進入路が水没し、一昼夜も通行止めになり、前川地区では床下浸水もあった。また国道10号線も鈴子川の氾濫によ

り4時間以上も通行止めになった。

この原因は、  
・能徳団地ができたこと  
・農地の宅地化  
・土砂による河川の堆積  
・凱旋池、畑成池、二番池等からの溢れた水が一気に流入すること、  
等々幾つか考えられる。

また今後、東九州道の建設により、このことは益々心配される。皆で知恵を出し、「どげんかせないかん」と思うが執行部の考えを伺いたい。

**市長** 一般住宅はもちろん、能徳団地の企業、従業員の皆様に多くの迷惑をかけた。二度とこのようなことがないよう最善を尽くしたい。

**総務課長** 議員指摘のように、異常気象等による大雨で多くの住宅が浸水、また、道路の冠水等により多くの市民に不安と迷惑をかけた。

市では防災対策班を出动させ土嚢等で対処してきたが限界があった。今後、関係課、関係機関と協議し、抜本的対策をとるよう努めたい。

**建設課長** 平成16年の鈴子川の氾濫により、5箇所が通行止めになった。その後、対策として鈴子川の堆積土砂の取り除きを

年次計画で実施しており、また一部橋梁の架け替えも計画している。

能徳団地の進入路についても大型排水ポンプ及び冠水表示システムの設置を行った。

今後「鈴子川流域浸水対策計画」に基づいて、補助事業等の活用を図り、改善に努めたい。

**農林水産課長** 大雨時ため池、井堰等の管理を特にして頂くよう地元関係者をお願いしている。稲作と台風については、その対策として、深水を呼びかけている。深水だと根元から倒伏せず、また、仮に10cmの深さだと、反

当たり1000トンの水を貯める

ことができ 調整池としての機能が果たせると考えている。

**議員** かつては経済川も氾濫したことがあったが、今は整備されている。皆で知恵を出しながら、鈴子川についても対策を講じて頂きたい。

一方、水に関連して、渇水対策については大丈夫か、行橋市は慢性的な水不足のようだが。

**上下水道課長** 水道企業団から3800トンの受水と地下水で十分賄え、まだ1000トン程度余裕がある。

### 山本章一郎議員の質問

## 1 人口増対策について

**議員** 人口を増すためには、企業誘致、住宅政策、福祉、教育等さまざまな角度から対策を講ずる必要がある。

公営住宅の建設が進んでいるが、市内に平均的に人が住む方法があればベストだが、市の考えをお聞きしたい。

**総合政策課長** 人が住む条件として、通勤、通学、病院、買い物等、交通の利便性、また、上下水道、道路などのインフラ整備が大きな要素と考えられる。

しかしながら、人の価値観の違いにより、少し不便でも豊かな自然の中で暮らしたい人、或いは市街地で暮らしたい人さまざまである。

市内、それぞれの良さをアピールする必要があると思うので関係課と協議したい。

**議員** なぜそのような事を言ったかと言うと、市内に平均的に住めば、小学校授業の複式化、或いは統廃合を考えずに済むからである。

**市長** 議員指摘のように、小学校は地域の核であり、死守したいと考えている。



平成16年度の水害状況



休日急患センター

**議員** 県営住宅、上町南団地について伺いたい。

**建設課長** 県営住宅については旧入居者の移転が始まった。新規募集は13戸がなされる予定である。

**市長** 上町南団地については2月上旬完成予定で、一般公募は12戸を4月に行いたい。なお、2期工事54戸を継続して実施したい。

**議員** 自動車150万台構想で、働く場の確保は順調に行くと思われるので、優良な住宅政策を行政が主導し、一人でも多くの人が豊前市に移り住んでもらえるよう努力していただきたい。

次に医療体制についてお尋ねしたい。本市には総合病院はなく緊急、高度な医療を要するものについては行橋市、中津市の病院に依存している。人々が安心して暮らせるためには医療体制の整備も不可欠と思うが、市の考えを伺いたい。

**市長** 市内には47箇所の医療施設があるが、重症患者などに対しては、近隣の病院に依存しているのが現状である。

豊前市単独で緊急総合病院を確保することは困難であり、休日急患センターを運営し、安心、安全な医療体制づくりに努めて

いる。今年度、県境を越えた津市民病院広域医療圏対策研究会を発足した。今後、医療体制の一層充実を図りたい。

**議員** 市内のそれぞれの病院が連携し、カルテの共有化等ではないのか。医療費の削減にも繋がると思うが：

**市民健康課長** 患者個人のプライバシーの問題もあり、難しいと思う。

**議員** 人口増にはいろんな要素があるが、一番必要なのは市長の明るいうりーダシップである。今後、肝に銘じて市政運営に励んでいただきたい。

## 村田喜代子議員の質問

### 1 市政運営について

**議員** 総合計画の後期五カ年計画の見直しの年で、人口減対策は重要なテーマであるが…。

**市長** 本市の人口は10月末で2万8千3百人、残念ながら自然動態、社会動態ともに減少が上回っている。上下水道の整備、中心商店街の活性化、土地区画整理事業、横武地区の宅地分譲、並びに企業誘致による雇用機会の創出など行うことにより少し



でも人口減に歯止めをかけた。

**議員** 環境問題は地球的規模で取り組まなければならない問題である。職員にノーカーデーの日を決め、市バス通勤を勧めたらどうか。一石二鳥であると思われるが。

**総務課長** 市バスも燃料費の高騰で苦しい経営を強いられている。市民に利用の促進を呼びかけており、貴重な提言と受け止めるが、時間帯、台数等の関係で市民優先の運行に支障がでる恐れがある。しかしながら検討する価値はあると考える。

### 2 少子化対策について

**議員** 過去、何度となくこのことを訴えてきたが、子供を産み、育てることは大変なことである。保育料等の減免等の更なる措置は考慮できないか伺いたい。

**福祉課長** 平成17年に「豊前市次世代育成支援行動計画」を策定し、子供と子育て家庭に対する支援、少子化対策に取り組んでいる。

平成19年度には子育てサポート事業として第2子出産祝金の拡充等を図った。

**議員** 子供が4、5、6人と多

い家庭にもっと祝金はだせないのか。

**福祉課長** 出産祝金は基本的には経済的支援が目的ではなく、子育て支援、奨励が主と考えている。近隣では吉富町だけであり、ほかでは実施していない。ご理解願いたい。

**議員** 子育て支援ガイドブックはどのようになっていくのか。  
**福祉課長** 現在、最終的な編集にはいつている。

### 3 学童の安全対策について

**議員** 世の中異常な事件が多発しているが、車社会になり通学路も危険な箇所が多いと思われる。豊前市においてはどのような状況か。

**教育課長** 学校と連絡を取り、通学路の安全と環境整備に努めている。

**建設課長** 通学路の危険箇所については、何箇所か承知している。用地交渉ができれば実施する。地元関係者に是非、ご協力をお願いしたい。

**議員** 子供の教育は学力重視だけでは問題があると思うが。

**教育長** 学校教育では知・徳・体・食育を含んだ教育をしている。

## 吉永宗彦議員の質問

### 1 企業誘致と用地の確保について

**議員** 自動車150万台生産拠点と位置づけられたこの地域は、企業誘致の千載一遇のチャンス。これを逃すと、あと50年、100年、このような機会はないと思われる。

**用地確保** ために用途地域の指定変更を。具体的には準工業地域へと変えることは可能ではないのか、また、そのためには総力戦、プロジェクトチームを立ち上げ、望むべきではないのか市長の決意を伺いたい。

**市長** 団塊の世代の退職を向かえ、退職金等財源の確保を図る必要があった。そのため、工業団地の取り組みに遅れたことは事実である。

**財源の見通し** がついたので、議会終了後、担当を決め、準工業地域指定の手続きを開始したい。

### 2 雑草放置地の処理の実態について

**議員** 良好な環境を保持するため、関係の条例が平成11年に制定された。その後、実態調査を

していれば、その報告を願いたい。

**生活環境課長** 放置田全体の把握はできていなく、お詫び申し上げたい。平成14年から平成18年まで市に寄せられた苦情の受付件数は448件、総面積約59万平方メートルで、その内80%弱が処理できている。

残りは所有者の無理解、所有権のトラブル、費用の問題等で処理できていない。

**議員** 条例では強制代執行もできるようだが、そのような例はあるのか。

**生活環境課長** 過去5年間はない。苦情申し立人と所有者との利害関係もあり、極力、説得を基本としている。今後も粘り強く続けたい。

### 3 後期高齢者医療制度の概要について

**議員** 国がこの医療制度をつくった最大の狙いは何と考えるのか。

**市民健康課長** 国の説明では、医療費総額のうち、高い割合を占める後期高齢者の医療費について、別建てとすることで、効率化を進め、負担の公平化を図ることがねらいと述べている。

**議員** これは戦後の復興に貢献してきた人々を切り捨てるよ

うな悪法である。本人負担は10%でほとんどの人は年金から強制的に徴収される。この負担割合は将来的には引き上げられる可能性があるのでないか。

**市民健康課長** 国の財政が厳しければ、引き上げは考えられる可能性はある。

**議員** この制度により、高齢者の医療費支出が抑制されるのではないのか。

**市民健康課長** 国の方針として、40歳代から75歳になるまで、病気の予防にも重点をおきだした。このことは医療費の抑制を図ることにも通ずる。

**議員** 保険料が高騰し、高齢者が本人負担できない場合、市独自の援助はできるのか。

**市民健康課長** 現在のところ考えていない。

### 4 入札談合情報を受けての市の対応について

**議員** 入札制度の改善に努めていると思うが、先般、市の入札で談合情報が寄せられた。談合は本当にないと自信をもっているのか伺いたい。

**副市長** 私どもの承知する範囲では談合はないものと思っている。

### 5 向陽荘民間委議の条件について

**議員** 譲渡先が内定したと思う



向陽荘

## 「割賦販売法の抜本的改正を求める 意見書」の提出を求める請願

クレジット契約は、消費者に広く普及している一方で、強引・悪質な販売方法と結びつく危険な道具にもなるものである。

クレジット会社の与信審査の甘さから高齢者や、年齢・性別を問わず、クレジット契約を悪用したマルチ商法・内職商法その他の詐欺的商法の被害が絶えない。このようなクレジット被害は、クレジット契約の構造的危険性から生じる病理現象であると言える。

経済産業省の産業構造審議会割賦販売分科会基本問題小委員会は、クレジット被害を防止するため、割賦販売法の改正に関する審議を進めており、本年秋には法改正の方向性が示される見込みにある。今回の改正においては、安心・安全なクレジット契約が提供されるために、クレジット会社の責任においてクレジット被害の防止と取引適正化を実現する法制度が必要である。

よって、豊前市議会は国会及び政府に対し、割賦販売法改正に当たって早期に実現するよう強く要請する。

- ・ 委託にあたり、入所者へのサービスの低下があってはならない。契約の条件はどのようなものか伺いたい。
- ・ 福祉課長 入居者の処遇維持、向上が前提条件であるが、主なものとして、
- ・ 契約期間は5年とすること
- ・ 土地の賃借料が年間約150万円とすること
- ・ 事業を休止、廃止するときは返還すること
- ・ 災害時等の場合、高齢者の緊急避難を受け入れること

- ・ 運営状況の調査権、実績報告の義務化
- ・ 契約不履行の場合は契約解除できること
- ・ などである。時期としては平成20年7月1日が有力である。
- ・ 議員 そこで働く職員の処遇はどうなるのか。
- ・ 総務課長 正規職員は原則的には本庁に帰ることになる。その他の職員については、本人の希望を叶えられるよう調整したい。

## 議 会 を 傍 聴 し ま し ょ う

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

次期定例会の一般質問は2月21日(木)、22日(金)の予定です。

## 会議録 閲覧のおしらせ

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。

議会の詳細を知りたい方は、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。

また、豊前市ホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

## 豊前市単独による教員加配に係る請願

合岩小学校では、年々児童数が減少しており、平成19年度には単独学級4と複式学級1の5学級になった。平成20年度複式学級を円滑に進めるためには、主要教科を中心に学年別に指導する必要があるため、単独による非常勤講師の配置を請願する。

## 特別支援教員の加配に係る請願

合岩中学校に、「特別支援教員」支援を必要とする生徒が在籍している。特別支援学級がないため、特別支援教員の配置を請願する。

### 次期議会の日程表(予定)

2月15日(金)	本 会 議	開会、会期の決定、提案理由の説明
16日~20日	休 会	議案審査日
21日(木)	一 般 質 問	午前10時~
22日(金)	一 般 質 問	午前10時~
23日~24日	休 会	
25日(月)	常 任 委 員 会	
26日(火)	常 任 委 員 会	
27日(水)	常 任 委 員 会	
28日(木)	常 任 委 員 会	
29日(金)	本 会 議	委員長報告、質疑、討論、採決
3月1日~2日	休 会	
3月3日(月)	本 会 議	予備日

## 編 集 後 記

平成19年も終り、お正月もあっと思う間に過ぎ、時の早さに戸惑うばかり。昔のお正月のカルタ取りや凧揚げの風景が、見れない様になり時代の移り変わりを感じる。

少子化の進む中、子どもが外で遊ぶのが見えないほど淋しいものはありません。家の内にて「子ども達が、どの子もこの子も指の先、ピポポポポ、ピポポポポ、視点はゲーム」身心共に健康であって欲しいと願いたい。

松下幸之助さんの格言に「健康も仕事の内」とあります。私も大反省！学力向上も、朝食をしっかり取り充分な睡眠で健康第一でなければなりません。

村田喜代子

### 編 集 委 員

委員長 村田喜代子  
副委員長 宮田精一  
委員 古川哲也  
委員 山崎廣美  
委員 尾澤満治